

						(別紙5)
		公表 事業所における自己評価結果(放課後等デイサービス)				
事業所名	さんSUNアフタースクール大阪狭山				公表日	2025年5月7日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準以上のスペースを確保し、子供達が快適に安全に過ごせる様に配慮しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数を確保しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			事業所が二階にある為、外階段には片側に手すりを設置しています。室内には段差があったりバリアフリー化されていないです。必要の場合は職員が階段の上り下りを補助し、より安全に配慮いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		チェック表を使い、療育後のフロアの掃除、トイレ掃除を毎日行っております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		支援内容等により適切な部屋を使用することができるようしております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			引き続き目標に向かって実行、確認、手直しをくり返し業務の質を高められる様努力します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者にも評価をお願いし、ホームページ上に公開してあります。業務改善につながるようチームで検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に面談を設け、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在行っておりません。今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員個々に合った外部研修や、毎月、動画研修を受けており職員のスキルアップに努めています。	
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを踏まえて面談を行い、ニーズや課題を分析して作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		現場職員と一緒に発達状況と、今後の課題について話し合い、計画書の作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		必要に応じて話し合い共有し支援に繋がっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察を中心に、話し合いを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿った支援を実施しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		まずは、各職員に案を出してもらい、その中から毎月の活動プログラムを決めています。	

な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎日違う課題に取り組んでおり、さまざまなプログラムを取り入れて工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の児童の特性を十分に理解し、個別と集団の必要性を考慮したうえで作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日の担当を決め、その日に行われる支援は当日や前日に確認し共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後に出来なかった場合は翌朝振り返りを行なっている。その日いなかったスタッフにも伝わるように業務日誌に記載し、伝達がしっかりできるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		スタッフ間で徹底し、その都度検証・改善に努めております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適宜、保護者のご意見をお聞きし、スタッフ間での打ち合わせを行い、見直しをするよう努力しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		ガイドラインの基本活動を基に、個々に合った活動を組み合わせ支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で、お子さまが選択したり、意思表示ができるような機会を設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		基本児発管のみが参加していますが、状況により児発管と指導員の複数で参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に合わせて連携をとっています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		毎月の行事予定表、下校時間表を頂いたり、急な下校時間変更・引き渡し場所の変更等の連絡を頂いたりトラブルがない様行うことができています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	相談支援専門員や保護者を介して情報収集を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	必要に応じて、学校を卒業する前に学校・相談支援員・関係機関・サービス事業所との担当者会議をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在はそのような機会はありません。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在はそのような機会はありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		施設長が障がい児通所部会に参加し、情報共有や支援の向上に向けた話し合いに参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎の際に状況を共有させていただいたり、連絡ノートやLINEなども活用して情報共有ができるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		ペアレントトレーニングは実施していませんが、地域で開催される研修には家族様も参加して頂けるようお声がけさせていただいています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明させていただき、変更があるときは文書も添えてお伝えするようにしています。ご質問等はその都度ご返答させていただくようにしています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談や送迎時、お電話等で確認し、情報共有しながら作成しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		支援計画を書面で発行し、児童発達支援管理責任者が説明を行い、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談だけでなく、送迎時又は電話など急な相談にも対応し助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		現在父母会の活動を支援することや、保護者会を開催しておりません。今後必要に応じて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		当事業所に、苦情対応窓口があります。詳細は契約書に記載しております。また、保護者からのお話には耳を傾け、真摯に受け止め今後の運営における参考にさせていただいております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月のおたよりの他、必要に応じてお知らせを発行しています。公式LINEやInstagramで様子を見て頂ける様発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護については、同意書を取り交わしており、鍵付き書庫に書類を保管し徹底してその保持に努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者さんとはもちろんですが、保護者ともしっかり情報伝達をするために連絡帳を使ったり、電話やLINE・メールを活用しながら情報伝達をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		実施したことはありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			職員間では共有し周知を図っていますが、保護者の方への説明は十分ではないため、お伝えできるようにしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に火災と地震の避難訓練を実施しています。また消防局への見学も行っており応急救護体験や消火体験などに参加しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用契約時にアセスメントシートにて記載をしていただいております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者を通じて情報を得て職員全員が把握しておけるようにしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理を十分行ったうえで支援しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			保護者の方への説明は十分ではない為、お伝え出来るようにしていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		危険な事例があった場合、ヒヤリハットを作成しミーティングを通して職員で共有し、事故防止につとめています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止・身体拘束の研修を行い、日常でも虐待の意識が持てるようにしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		現在、該当する方はいませんが、研修を通して適切な対応の仕方の周知を図っています。